

悩める若者よ、相談へ行こう。

不登校やひきこもり、ニートなど社会生活を円滑に営むことができない若者の増加が社会問題化しています。義務教育中はスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが支援していますが、義務教育終了後はどこへ相談すれば良いか悩んでいるかたも多いのではないのでしょうか。

生きづらさを感じる一人ひとりに寄り添うため、4月より、ふくし総合サポートフロア内に開設した「若者サポートセンター」は、困難を抱える若者のための相談窓口。7月からは、15歳から39歳までのかたやそのご家族などを対象とした「若者相談^{*}」を開始します。専門の相談員がそれぞれの事情に合わせ、今できることを一緒に考え、他の行政機関や保健・医療、福祉、教育、雇用、NPO法人などの支援団体とも協力して、支援の輪を広げていきます。

自立までには時間のかかる問題ですが、ご自身やご家族だけで抱え込まずに、一歩踏み出してほしいと思います。

※相談は予約制です。詳しくは、社会福祉協議会のホームページで。



岡崎市長
中根 康浩